



市民の税金が  
暴力団の  
資金源に

# ごみ行政がおかしい!!

利権がらみで動いているのでは?

日本共産党が  
6月議会で  
追及!!

日本共産党は広域議会で「百条調査」を提案。  
自民・公明・社民が反対して否決。  
ならば、市民運動で真相を明らかにさせよう。

## 不明朗な随意契約 …日本共産党は反対

長年、ゴミ焼却の仕事を委託してきた『九州重環』が撤退を表明したため、広域圏事務組合（浜田博管理者）は、新しい委託先を公募しました。

その委託条件を「2年以上の経験」としながら、実際には、入札直前に設立されたばかりの『別府環境エンジニアリング』と随意契約で委託したのです。

日本共産党のえんどう市議は「文書偽造」などを指摘し反対しましたが、この契約も自民・公明・社民の多数で押し切りました。

## 不正発覚、逮捕 …暴力団に3,000万円

その後、不正が発覚し、暴力団に3000万円、浜田市長の古くからの支援者・水永に1,600万円が、『別府環境』を通じて渡されていたことが明らかになりました。

6月の別府市議会で、えんどう市議は「公金の流出であり、返還の要求を」と、浜田市長に強く求めました。

疑問  
3

## なぜ、資格のない業者(別府環境)に委託したの?

## 新焼却炉…入札の怪

いま、新しい焼却炉が建設中です。この入札でも不思議なことがありました。別府市の副市長が責任者の業者選定委員会は、12億円も高い日立造船を選んだのです。

この日立造船は全国で不正な談合をしていたと公正取引委員会から告発され、最高裁で有罪が確定し、国から課徴金と営業停止命令を受けた企業です。

## 日本共産党は、反対

日本共産党は、この入札疑惑をくり返し追及し、契約にも反対しました。ところが広域圏議会では、自民・公明・社民などの議員が、多数で押し切りました。

## 入札結果

	【日立造船】	【エバラ】
建設費	98億7,000万円	114億6,894万円
維持管理費	88億5,390万円	60億0,272万円
セメント処理	21億3,959万円	21億3,959万円
(合計)	208億6,349万円	196億1,125万円

※建設5年、維持管理15年の入札結果ですが、実際は、30年以上委託しますから、約41億円高い買い物になります。

疑問  
2

## なぜ、41億円も高い業者(日立造船)を選んだの?

## 日本共産党は…

「新しい焼却炉は235トン／日の大型炉は不要。ゴミ分別収集をすすめ小さな焼却炉にすべき。そうすれば経費も節減できる」と主張していました。

## ところが…

別府市は「温暖化対策として、平成22年度からプラスチック容器包装の分別収集を始める」と計画していました。ところが広域圏事務組合は「プラスチックも燃やす」と決め、市は分別計画を撤回。同じ責任者（浜田博氏）が180度ちがう方針を出すとは、説明がつきません。

今年6月市議会での平野市議の「計画どおり分別すれば何トンの減量ができるか」との質問に、市は「約1万トンの減量ができる」と答弁。

また事業系ゴミには産業廃棄物が混入しており、分別すればさらに減量できます。

ゴミ減量に消極的で、大型炉にムダな経費をかける…別府市のゴミ行政はおかしいのではないでしょうか。

疑問  
1

## なぜ、大きな炉（一日235トン）が必要なの?

日本共産党市議団は、「別府市のごみ行政はおかしい」と、これまで一貫して指摘しました。